

平成 19 年 2 月 23 日

各 位

会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 大嶋 章 禎
(コード番号：6835 東証第 2 部)
問合せ先責任者 IR 部長 原 洋一
(TEL：03-5437-6007)
(URL <http://www.at-global.com/ir/>)

2006 年 12 月期決算発表について

平成 19 年 2 月 23 日付にて発表いたしました「平成 18 年 12 月期決算短信（連結）」につきましてコメントさせていただきます。

まずはじめに、平成 18 年度の連結業績に関しまして、約 80 億円の当期純損失を計上いたしましたことを深くお詫び申し上げます。

損失の内容につきましては決算短信に記載いたしましたとおりでございますが、2006 年も成長性が高く 5 ヶ年計画の柱となる IP トリプルプレイを中心に継続して研究開発費を約 63 億円投資しましたが、当初の計画どおりには売上げが伸びず、約 33 億円の営業損失ならびに経営損失を計上いたしました。また、米国子会社のれん償却費および投資有価証券評価損、固定資産除却損など約 18 億円の特別損失を出し、さらに繰延税金資産の減損が約 29 億円あり損失が大きく膨らみました。これは当社グループにとって財務体質の強化、収益構造の強化を図るうえでその弊害となる恐れがあることから、将来に対する債務を一括で処理することにしたものであります。

今後 5 年間で飛躍的に成長を計画している当社としては 2006 年の決算において、今までの負債を払拭し、さらに今後の成長に財務体質を健全化させ、収益性を高めて 2007 年以降の 5 ヶ年計画の確実な実績作りをしていく方針でございます。

平成 18 年 12 月期の決算の詳細につきましては、同日発表いたしました決算短信を確認して頂ければと思います。

また、当社グループとしては初めての 5 ヶ年計画を発表いたしました。当社グループは IP トリプルプレイ事業に総力を上げて推進しておりますが、その研究と開発に 5 年の歳月と総額 200 億円に上る投資を行ってまいりました。IP トリプルプレイ事業は、世界的ブロードバンド化の時流に、IP トリプルプレイ機器と IPTV などのサービスが一致した時に爆発的に拡大すると考えられており、今まさにその時が近づいてきております。先般、当社グループは米軍横田基地において、今後 15 年間で総額 75 億円の契約を締結し、IP トリプルプレイ・サービスを開始しました。これは、当社グループが IP トリプルプレイ・サービスを展開しうる企業集団として十分な評価を獲得したものであると自負しております。今後もたゆまぬ努力を続け、更に実績を積み重ねることにより、IP トリプルプレイ・サービスの第一人者としての確固たる地位を築き上げたいと考えております。

以上